

2018年12月21日

受益者の皆様へ

SBIアセットマネジメント株式会社

**SBI日本・アジアフィンテック株式ファンド  
約款変更決定のお知らせ**

拝啓 時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。  
また、平素は格別のご愛顧を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、弊社ファンド「SBI日本・アジアフィンテック株式ファンド」の投資態度の一部変更にかかる重大な約款変更につきまして、2018年11月27日時点の受益者の皆さまを対象にお知らせを行い、2018年12月20日まで議決権の行使を受付けました。

その結果、2018年11月27日時点の受益者の議決権の3分の2以上の賛成が得られたため、予定通り、2019年1月24日をもって約款変更を実施させていただくこととなりました。

**<変更内容>**

信託約款の投資態度において「原則として等ウェイト」としている組入比率に柔軟性をもたせ、より一層の収益獲得機会の拡大を目指すべく、変更を行います。詳細は、次頁の信託約款の新旧対照表をご参照ください。

なお、投資制限（1銘柄の株式への投資比率を信託財産の純資産総額の10%以内とする等）については現行方針通りで変更はありません。

何卒、ご理解を賜りますようお願い申し上げます。

敬具

信託約款の新旧対照表

追加型証券投資信託  
SBI日本・アジアフィンテック株式ファンド

下線部            は変更部分を示します。

変更後	変更前
<p>運用の基本方針</p> <p>2. 運用方法</p> <p>(2) 投資態度</p> <p>(略)</p> <p>③ ポートフォリオの構築に関しては、次のプロセスに則ります。</p> <p>1) 日本を含むアジア主要国市場でフィンテック関連分野での高い成長が見込まれる銘柄を抽出。事業への貢献・規模・実現性などを考慮しコア・フィンテック銘柄を選定します。</p> <p>2) ファンダメンタルズ、財務面などを考慮し、スクリーニングを実施し組入れ候補として絞り込みを行います。</p> <p>3) 実際の組入れに際しては、予想PERによる割安度、流動性等を考慮し、原則として30～<u>50</u>銘柄程度とします。</p> <p>④ <u>組入比率は、原則として成長性、収益性、安定性、フィンテック関連技術の成長性など定量・定性的な評価を考慮の上、決定します。</u></p> <p>⑤ 投資対象銘柄の選定および<u>組入比率</u>については、モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社による投資助言を活用します。<u>なお、原則として四半期に1回投資対象銘柄の見直しを実施するものとします。</u></p> <p>(略)</p>	<p>運用の基本方針</p> <p>2. 運用方法</p> <p>(2) 投資態度</p> <p>(略)</p> <p>③ ポートフォリオの構築に関しては、次のプロセスに則ります。</p> <p>1) 日本を含むアジア主要国市場でフィンテック関連分野での高い成長が見込まれる銘柄を抽出。事業への貢献・規模・実現性などを考慮しコア・フィンテック銘柄を選定します。</p> <p>2) ファンダメンタルズ、財務面などを考慮し、スクリーニングを実施し組入れ候補として絞り込みを行います。</p> <p>3) 実際の組入れに際しては、予想PERによる割安度、流動性等を考慮し、原則として30～<u>40</u>銘柄程度とします。</p> <p>④ <u>組入れは原則として等ウェイトとします。ただし、流動性が著しく低い銘柄等については、等ウェイトとならない場合があります。なお、原則として四半期に1回リバランスを実施するものとします。</u></p> <p>⑤ 投資対象銘柄の選定については、モーニングスター・アセット・マネジメント株式会社による投資助言を活用します。</p> <p>(略)</p>

(変更適用日:2019年1月24日)